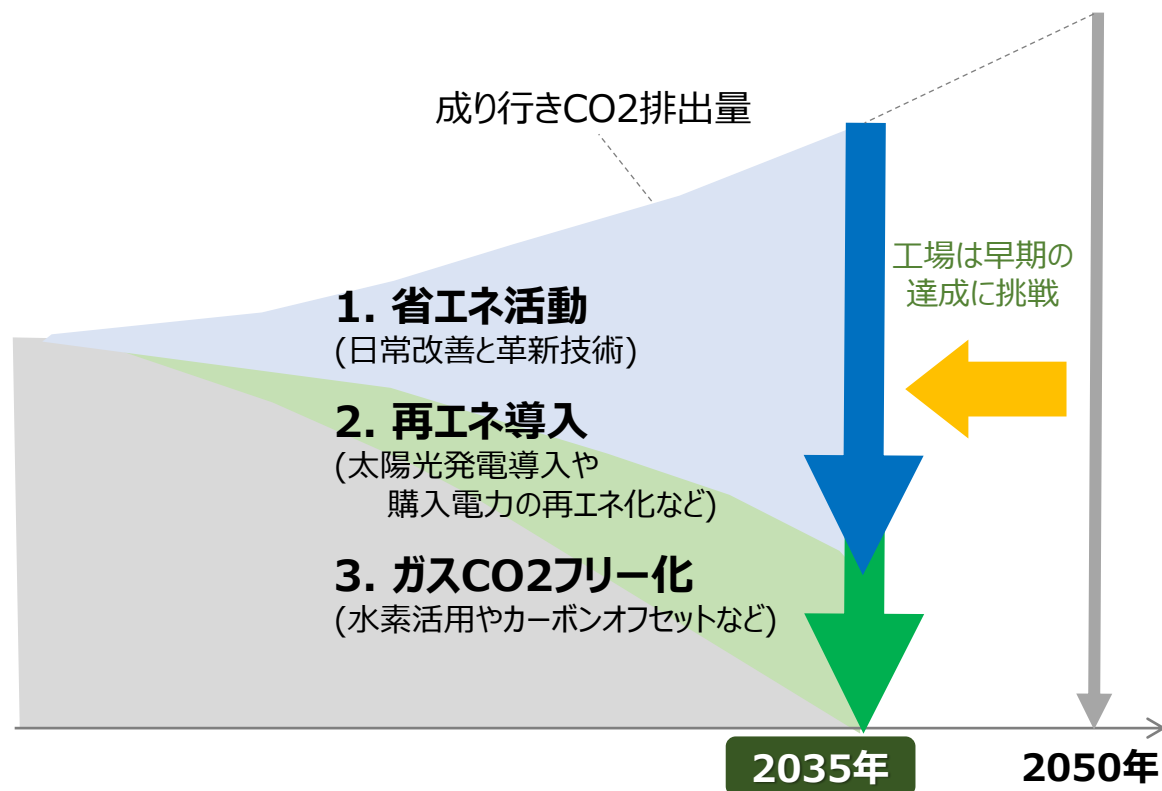


■トヨタ九州2035年工場カーボンニュートラルへの方策

トヨタ九州は2035年工場カーボンニュートラル達成に向け、**省エネ活動・再エネ導入・ガスCO₂フリー化**の3つの方策を軸に活動を推進しています。

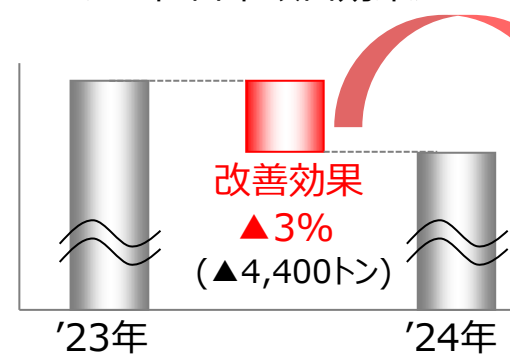


1-1. 省エネ活動：日常改善

地道な日常改善活動では、生産現場での省エネアイテム発掘活動(ESCO※活動)による改善などにより、効果を生んでいます。
また改善能力全社底上げのために、教育・啓発活動にも力を入れています。

※Energy reduction **S**upport & **C**ooperation (エネルギー低減・支援 & 協業)

<24年 日常改善効果>



<活動例>

省エネアイテム発掘活動(ESCO活動)

チームを組み現地現物での調査実施



ロスは
ないか？

実際に計測
してみよう

省エネを座学・実技で一日かけて学ぶコースも新規開講するなど、人材育成を加速中



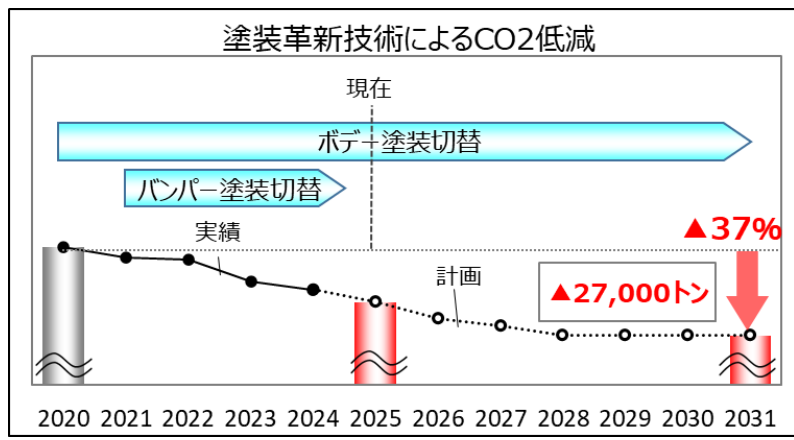
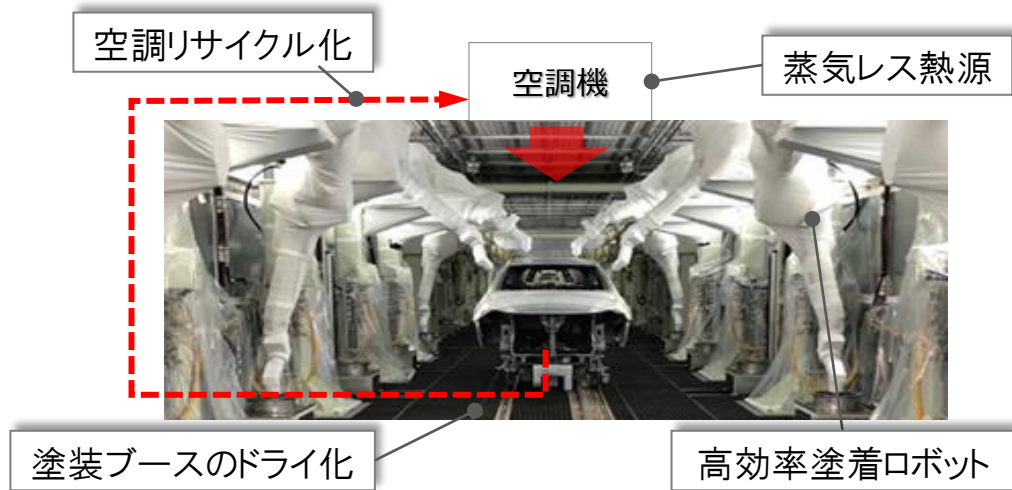
<座学による知識向上>



<実技による省エネ実践力向上>

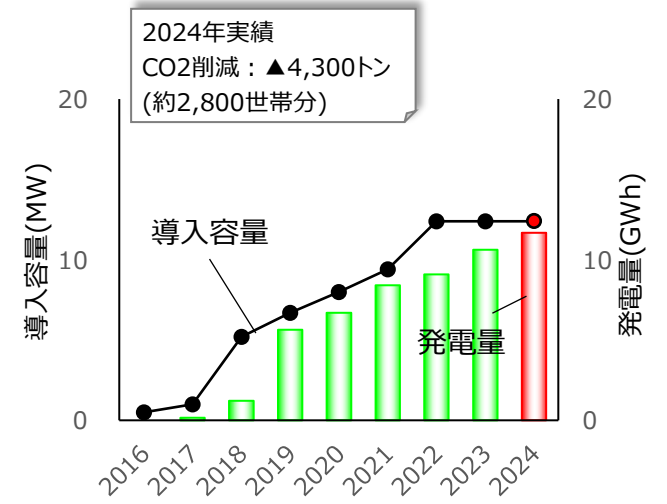
1-2. 省エネ活動:革新技術

塗装工程の革新技術 (ドライ化、高効率塗着)導入により、大幅にCO2を削減します。(2020年より順次切り替え実施中)



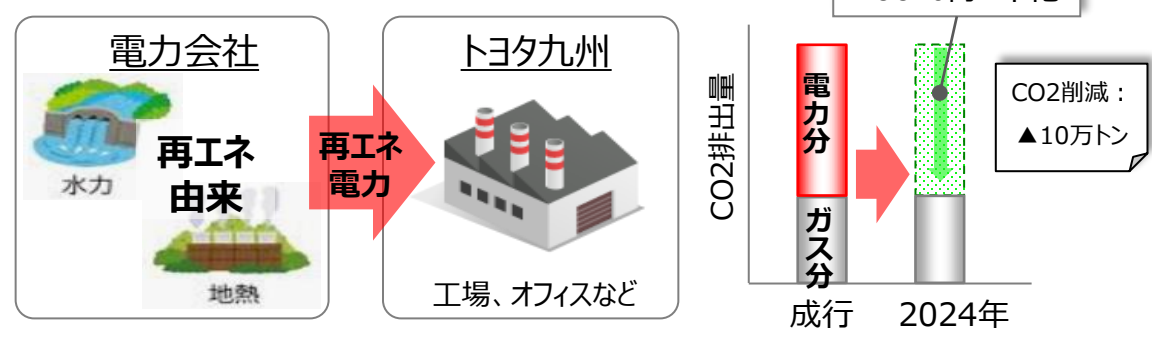
2-1. 再エネ活動：太陽光発電拡大

工場屋根上の太陽光発電拡大と購入電力の再エネ化により、再エネ導入を推進しています。



2-2. 再エネ活動：購入電力の再エネ化

工場の購入電力の再エネ化を推進しています。



3-1. ガスCO₂フリー化：水素混焼ボイラ

水素はカーボンニュートラル達成に向けて注目されている次世代エネルギーです。
トヨタ九州は、(株)IHI汎用ボイラ様と水素混焼ボイラを共同開発中です。

〈水素の特長〉



〈水素混焼ボイラ〉

ボイラは水を蒸発させて蒸気を製造する装置です。水素混焼ボイラは、
燃料である都市ガスの一部を水素に置き換えています。

